

# 電気カーペットの事故

## 事故の概要

【事例①】使用中の電気カーペットから出火する火災が発生して、電気カーペットと周囲を焼損した。

【事例②】使用中の電気カーペットから異音と焦げ臭いにおいがして、コントローラーや畳などが焦げた。

【事例③】電気カーペットが温かくならず、コントローラーから焦げたようなにおいがした。

## 事故の原因

### 【事例①】

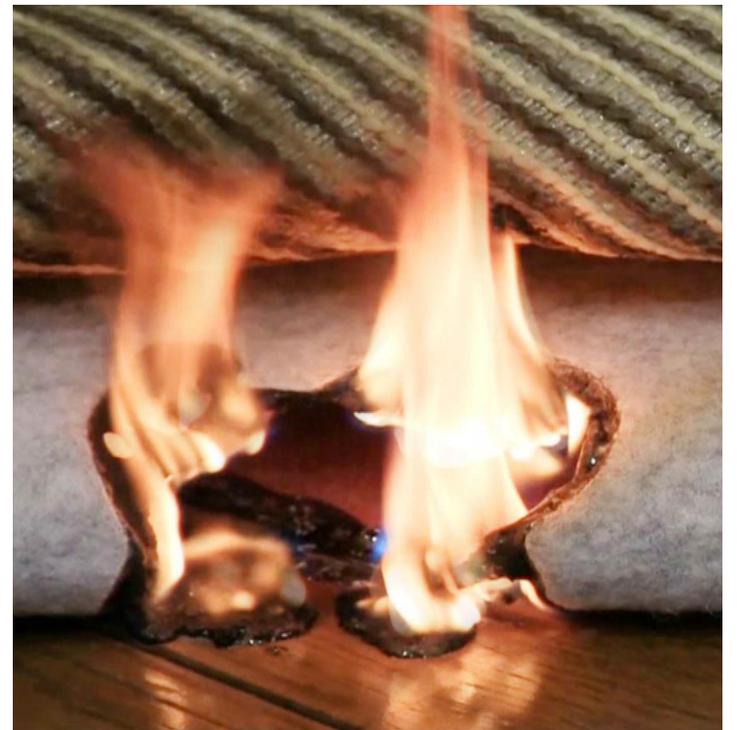
電源コードに強い外力が繰り返し加わり、断線してショートしたため発熱し、発火したものです。

### 【事例②】

長期使用(約22年)により、コントロール基板の抵抗が増大し、発熱してカーペットが加熱され、焦げたものです。

### 【事例③】

電気カーペットの保管時に折り畳んでいたため、大きな折りじわが生じていた。しわのある状態で使用していたため、ヒーター線が重なりあって過熱状態となり、ショートしてヒューズが溶断し、焦げたようなにおいがしたものです。



電気カーペットを折りたたんだ部分のヒーター線が重なりあったため過熱され、発火した事例(再現実験)



## 事故防止のために

- ◆ 電源コードを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
- ◆ 本体を広げ、しわのない状態で使用してください。
- ◆ 保管の際は、折りじわがつかないようにしてください。
- ◆ 重い物を乗せたり、強く曲げたりして、発熱体を傷めないようにしてください。
- ◆ 焦げ臭い、温まりにくいなどの症状があれば、使用を中止して販売店等に相談してください。

